

兵庫県議会議員

石井ひでたけ県政報告

vol. 31 2008年7月号

まっすぐに ひたむきに
県政へ 全力投球

発行元: 石井ひでたけ事務所

For The Future

いつもお世話になり ありがとう
ございます。石井ひでたけ
です！石井ひでたけホームページ
<http://www.ishiihidetake.net>みるみる
通信

～ 暑さに負けず 全力でがんばります！！ ～

いよいよ夏本番。暑い日が続きますが、ご健勝にてお過ごしでしょうか？
暑さ厳しき折、お体をご自愛ください。

さて、6月定例県議会も終わり、私はこの度、2度目の警察常任委員会に所属することになりました。また、議会運営委員にも選任され、7月4日には大阪府議会を訪問（一問一答方式の本会議場のやり取り等を傍聴）、8月には、議会改革の先進的取り組みをしている三重県議会を再度（昨年6月に会派で訪問）視察するなど、兵庫県議会の議会改革に向けた活動にも積極的に参加してまいります。7月、8月は委員会や会派の行政視察等の予定も目白押しで地元を留守にする事が多くなりますが、朝の駅立ちや夏祭り、地元会合等でお目にかかる事を楽しみにしています。今後の予定といたしま

～もっと身近に県政を～

ましては、下段の会派の「基本活動方針」に基づき、8月初旬は、県当局に対する政務調査会等を行い、県政における重要政策について会派の意見をとりまとめ、9月11日には「平成21年度予算編成に対する重要政策提言」として知事へ申し入れします。

（その中には現在民主党神戸市会のメンバーと立ち上げている環境・リサイクル委員会（委員長 石井秀武）の意見も反映する予定です。）

9月定例県議会（9月24日開会予定）では、19年度決算の審査や新行財政構造推進方策（第2次プラン）についての審議が行われます。決算審査はこれまで11月定例県議会で行ってききましたが、本年度より2ヶ月前倒して行いますので、11月定例県議会では、新年度予算の編成方針を中心に議論を行うこととなります。また、11月定例県議会では会派を代表しての代表質問で登壇予定です。19年度決算を踏まえ、また「新行財政構造改革推進方策」をより一層確かなものとしながらも、未来に希望の持てる県政の施策が展開できるよう、来年度（21年度）の予算にしっかり反映されるような質問をしていかなければいけないとの思いで取り組んでまいります。皆様方のさらなるご理解とご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

第295回6月定例県議会報告

（6月5日～6月12日開催） 正副議長の選出

議決案件について

議会運営委員会 警察常任委員会に所属

(1) 意見書の議決（下記の5件を議決）

- 「『地球温暖化防止の日』の創設等地球温暖化防止対策の充実を求める意見書」
- 「子宮頸がん予防ワクチンの早期承認等を求める意見書」
- 「原爆症の速やかな認定と被爆者の救済を求める意見書」
- 「過疎地域自立促進特別措置法の失効に伴う新たな法律の制定を求める意見書」
- 「特定航路等における船舶事故による漁業被害への対策に係る被害救済基金創設を含む法整備を求める意見書」

(2) 請願の採択

新たに提出された10件と継続審査を行なっている3件の計13件の請願について審査した結果、「原爆症の速やかな認定と被爆者の救済を求める意見書提出の件」など計3件を採択とし、3件を継続審査、7件を不採択とした。

(3) その他

「ふるさとひょうご寄附基金条例」の制定など条例案件8件、「尼崎市の中核市指定に係る申出について同意する件」など事件決議案件3件について可決、2件の人事案件に同意した。



＜2008年度 兵庫県議会民主党・県民連合議員団基本活動方針＞（2008年5月29日 決定）

兵庫県議会民主党・県民連合議員団は、「県民誰もが安全で安心な社会の実現」を願って議会活動を積み重ねてきた。本県の財政状況は実質公債費比率が全都道府県中ワースト2位となるなど危機的な状況に陥り、持続可能な行財政構造の確立を図るため、昨年度から新行財政構造改革に取り組んでいる。今年度は第二次の新行財政構造改革が課題となっているが、我が会派が一貫して主張している教育・医療・福祉・治安等の県民生活に直接影響を与える制度・体制等の後退は許さないという姿勢をさらに強く主張していく。本格的な地方分権時代を迎え、行政のチェック機能の強化や政策立案能力の向上など、地方議会・議員に求められる役割と責任は一層大きなものとなっている。県民の目線に立ち県民が将来に希望を持つことができる県政の実現に向けて、これまで以上に積極果敢に議会活動を展開していく。（中略 *詳しくは会派ホームページでご覧になれます。www.hyogo-minshu-kr.jp）

以上のことを踏まえ、「県民の生活を第一」に位置づけ、安全に安心して暮らすことのできる元気な兵庫づくりに全力で取り組み、新しいふるさと・真に豊かで美しい兵庫を実現させるため、2008年度兵庫県議会民主党・県民連合議員団の基本活動方針を裏面（重点項目抜粋）のとおり定める。

1 真の分権型社会の構築と県民の参画と協働に向けて

- ◆ 地方の自立と責任に立脚した真の分権型社会の構築をめざし、地方分権の原点に立ち返り、地方税財源基盤の確立を基軸としたポスト三位一体改革の実現に積極的に取り組む。また、「新行財政構造改革推進方策」の推進については、組織や行政施策の見直しが経費支出の重点化・効率化と県民サービスの向上につながるよう取り組んでいく。とりわけ、警察・検察における人的配置の確保に取り組む。
- ◆ 県民の共通財産である「緑」の保全・再生を社会全体で支え、県民総参加で取り組む仕組みである県民緑税については、災害に強い森づくりや防災・環境改善のための都市緑化に効果的かつ効率的に活用されるように取り組む。

2 健康福祉社会の実現に向けて

- ◆ 本年4月より施行された後期高齢者医療制度については、多くの問題点があることから、高齢者が安心して受診できる制度の確立をめざす。
- ◆ 福祉・医療3事業が新行革プランで見直しされ3年間の経過措置となっているが、県民の福祉・医療のさらなる後退が生じないように取り組む。
- ◆ 地域医療を確保するため恒常的な医師不足の解消に取り組む。とりわけ、小児科、産科、麻酔科などの医師の診療科偏在及び地域偏在の解消を図るため、就労環境の整備やへき地医の養成などに積極的に取り組むとともに、産科医の負担を軽減するため、助産師の確保対策の充実をめざしていく。また、県立病院についても、医師確保対策の強化に取り組む。



3 環境適型社会の実現に向けて

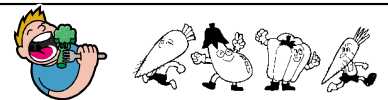
- ◆ 家庭における省エネ・省資源の暮らしへの推進を図るとともに、産業界における本県独自の温暖化ガス排出量取引が実のあるものとなるよう取り組みを推進する。
- ◆ 持続可能な環境適型社会の実現をめざし、「兵庫県環境学習環境教育基本方針」に基づき、多様な主体の参画と協働により日常生活のあらゆる場面で、それぞれのライフステージに応じた環境学習・教育をさらに積極的に展開する。

4 産業の活性化、雇用対策の充実及び国際化の推進に向けて

- ◆ 県民の暮らしを支え地域の活力の源泉となっている中小企業については、技術力・成長性の評価に基づく融資制度の拡充、第二創業・新分野進出などの経営戦略や知的財産戦略への支援の強化、さらには起業家育成システムの充実などにより、中小企業・起業家の自立と地域の経済・雇用の活性化を推進する。
- ◆ 正社員と非正社員との賃金格差のさらなる拡大が懸念されることから、長期的視野からの正社員の育成・確保を基本としつつ、その業務・責任の分担と働きに見合った処遇のあり方について検討し、仕事と生活を調和させ、十分に能力を発揮して働くことができる社会の実現をめざす。
- ◆ 若者の就業環境の厳しい状況を踏まえ、若者しごと倶楽部の地域展開等による職業的自立の支援や、若者の再チャレンジを可能とする募集・採用制度の普及などを、行政、労使団体とともに推進し、若者の雇用の促進を図る。

5 活力ある農山漁村づくりの推進に向けて

- ◆ 生活者の視点に立った施策体系をもつ「ひょうご農林水産ビジョン2015」に基づき、安全安心で健康な食づくり、県民生活と農林水産業をつなぐ仕組みづくり、地域特性を生かした力強い農林水産業の展開、美しい農山漁村づくり、「農」に関わる県民生活の展開を推進し、ひょうごの「農」を生かす社会の実現を図る。
- ◆ 「食の原点」である身近な場所で生まれた良質な旬のものを食べる「地産地消」「旬産旬消」のため、自給率向上に積極的に取り組み、安全安心で健康な食づくりを推進する。
- ◆ 農地や山林の維持保全は環境面、教育面に大きく貢献する等その影響も大きいと、県下の実態に応じた有効な限界集落対策に取り組む。



プロフィール

石井 秀武 (いしい ひでたけ)
昭和41年4月15日生まれ B型 西区学園西町在住
白陵中・高、神戸商科大学卒、サラリーマン生活を経て、
阪神・淡路大震災直後、会社を退社、代議士秘書
平成11年、西区より県議選に出馬するも惜敗(16315票)
平成15年、二度目の挑戦で県議会初当選(23129票)
平成19年、再選(24881票)
〔現在〕 兵庫県議会議員(2期目) 議会運営委員会 委員
警察常任委員会 委員 兵庫みどり公社 顧問
兵庫県議会民主党・県民連合議員団 副幹事長
民主党兵庫県連常任幹事(第4区総支部 幹事長)
兵庫民社常任幹事 兵庫県宅地建物取引業協会会員
明石市柔道協会 理事 兵庫県自転車競技連盟 顧問
社会福祉法人 相談役 他

石井ひでたけ事務所

〒651-2133

神戸市西区枝吉1丁目215番地

E-mail: voice@ishiihidetake.net

TEL / 078-920-2200

FAX / 078-920-2211

県政のご相談・お問い合わせは
事務所まで。必ずご氏名・ご連絡
先をお知らせください。

どんどん
ご意見・ご要望を
お寄せ下さい。



6 快適に暮らすことのできる社会基盤づくりの推進

- ◆ 生活者の視点に立って、生活の質を高めるという観点で「もの」やサービスが提供される社会構造への変革を促すとともに、環境に配慮した新しいふるさとづくりを進めるため、県保有の土地をはじめとする県有資源やこれまで蓄積してきた公営住宅、道路など既存の社会資本ストックを有効に活用する。そのことを通じて地域の魅力を高めて「つくる」から「つかう」プログラムを推進する。
- ◆ 県民だれもが利用しやすいユニバーサルデザインのまちづくりを基調に、高齢者や障がい者が安心して社会参加できる公共空間等のバリアフリー化を推進する。とりわけ、整備対象となりながら未整備の駅舎等におけるエレベーター等の早急な設置によるバリアフリー化を推進する。

7 新たな兵庫教育の推進に向けて

- ◆ ひょうごの未来を担う子どもたちを健やかに、たくましく育てるため、地域や家庭、学校との協働のもと、自然体験、社会体験、芸術体験、ボランティア活動などの体験学習の機会を充実するとともに、情報、環境、福祉、人権、多文化共生など時代の要請に対応した教育を推進する。
- ◆ インターネットの利用がはじめの背景等にあることも踏まえ、適切な利用について、子ども達が理解を深めることができるように、情報モラルの育成に力点を置く。
- ◆ 学校、家庭、地域、行政が連携し、子どもの安全管理と、耐震化率60%という状況にある公立小中学校施設の耐震化・老朽化への早急な対応など建築構造上の安全の両面において安全・安心な学校づくりを推進するとともに、子どもが安心して登下校し、地域で遊び、生活できる地域づくりに取り組む。

8 芸術文化・スポーツの振興に向けて

- ◆ 人々の暮らしの中に息づき、心の豊かさの原点となる芸術文化について、地域ぐるみで伝統文化や伝統芸能を継承するとともに、若手芸術家をはじめとした芸術文化の担い手を育成する。また、芸術文化センター、県立美術館、兵庫陶芸美術館、県立考古博物館などでの多彩な公演や展示などを通じて、芸術文化に触れる機会の充実に努め、兵庫ならではの豊かな文化を醸成する。

9 県民が安全で安心して暮らせる社会の実現に向けて

- ◆ 「地域安全まちづくり条例」の普及を促進し、子どもが被害者となる事件をはじめ、県民生活の安全と平穏を脅かす凶悪・悪質な犯罪の増加に対応するため、「まちづくり防犯グループ」など地域と緊密に連携した安全対策や交番の機能強化などを通じて、地域の防犯体制を充実・強化する。
- ◆ 1月17日の安全で安心な社会づくりを期する「ひょうご安全の日」を中心に、阪神・淡路大震災の経験と教訓を災害文化として永続的に継承・発信する。また、近い将来の発生が予測される東南海・南海地震、山崎断層帯地震をはじめ、洪水・土砂崩れ・高潮等自然災害に備える基盤整備やシステムの構築、広域での連携などを進め、被害を最小限に食い止める「減災」に取り組む。

10 関西における広域連携について

- ◆ 防災体制の強化や観光・地域産業の振興による地域活性化、自然環境の保全、医療連携、空港・道路・港湾の一体的な整備・管理などについて、関西広域機構の機能を十分に活用するとともに、国からの権限移譲の受け皿ともなりうる「関西広域連合(仮称)」の設置を求め、関西における広域的な連携・取組を推進する。